

令和3年度第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会 議事録

1 日 時 令和4年3月23日(水) 午前10時30分～午前11時30分

2 場 所 小中台公民館(講堂)

3 出 席

稲毛区公民館運営審議会委員(14名)

井上 美穂子委員、前島 正明委員、堀谷 陽子委員、小林 巧委員、中村 幹雄委員、
鈴木 将夫委員、岡山 尚美委員、川島 義美委員、高階 光義委員、溜 昭代委員、
地曳 克浩委員、石津谷 美佳委員、栗田 謙正委員、草壁 陽子委員

事務局(14名)

生涯学習振興課 土肥課長補佐、積田主査、寺村主任主事

公民館管理室 小林室長

小中台公民館 金谷館長、藤代副館長、召田主事

黒砂公民館 中島館長、轟公民館 網野館長、稲毛公民館 西澤館長、

千草台公民館 今関館長、草野公民館 垣地館長、山王公民館 佐藤館長、

都賀公民館 高橋館長

傍聴人 なし

4 議 題

(1) 報告事項

ア 令和3年度公民館利用状況について

(2) 協議事項

ア 令和4年度公民館事業計画について

5 議事概要

(1) 報告事項

ア 令和3年度千葉市稲毛区公民館利用状況について(1月末現在)について事務局より報告した。

(2) 協議事項

ア 令和4年度千葉市稲毛区公民館事業計画(案)について意見を伺った。

6 会議経過

・開会

- ・ 稲毛区公民館運営審議会委員長挨拶

- ・ 生涯学習振興課長補佐挨拶

- ・ 議題

(1) 報告事項

ア 令和3年度千葉市稲毛区公民館利用状況について（1月末現在）
会議資料に基づいて稲毛区全体の利用状況について説明した。また、稲毛区公民館図書室の整備状況、貸出状況について説明した。

井上委員 ただいま金谷館長より、利用状況について説明があった。ご質問ご意見があれば挙手にて、伺いたい。

高階委員 山王公民館の主催事業の参加人数が、去年は1,112人であるが今年は206人と大きく減少している。何か理由があるのか。

佐藤館長 昨年度は、主催事業で1か月間の展示を実施しており、その展示を見に800人ほど来館いただいた。今年度は実施しなかったためその差であると考えられる。

(2) 協議事項

ア 令和4年度千葉市稲毛区公民館事業計画（案）について
各館長より、説明を行った。

井上委員 ただいまご説明をいただいた内容にご意見やご提案ございましたら、挙手にて伺いたい。

川島委員 図書室併設館は5館である。残りの4館については図書室がないが、どのように対応していく予定か伺いたい。

土肥課長補佐 現在、図書室を設置する予定はないが、例えば、寄贈された本を読めるスペースを設ける等をしている館もある。図書室がなくとも市民が本に親しむ機会を提供させていただくように取り組んでいきたい。

川島委員 市民が本に親しめるようにしていただければと思う。

前島委員 2点お伺いしたい。文化祭について、あるサークルの保護者から「定員が少ないままでは、参加させることができない」という声があった。生涯学習振興課として人数制限について、今後考えていることがあれば教えていただきたい。

土肥課長補佐 市の施設の中には定員100パーセントで利用している施設もあるが、公民館における活動は様々で、定員の考え方は活動の内容に応じて変わってくることもあるため、今すぐ定員100パーセントで使用していただくことは難しいと考える。文化祭のやり方も、形式を含めて実施の可否を相談していく形になると思う。

前島委員 2点目として、いくつかの館が、食にかかわる講座の制限がまだあるとおっしゃった。今後どのように取り扱っていく方針か。事業を推進したい気持ちはあるが、制限があつて思うように実施できないこともあるのが悩みではないか。講座が盛り上がっていないこともあるのではないか。

土肥課長補佐 現状、部屋貸しでも主催事業でも、調理はできるが飲食ができない。本来、作ったものを食べるころまでが調理実習であるとは思いますが、どうしても飲食の際にマスクを外すことがあるため、飲食を許可することに踏み切れない状況である。皆様のご意見を伺いつつ、検討はしているが、飛沫感染のリスクがある以上なかなか緩和できない状況である。感染症への対策・対応が進んでいけば緩和の可能性もあるが、現状は難しい。

石津谷委員 他区の公民館を利用した際に、コロナによる制限で、調理をしても飲食を禁止且つ、持ち帰りも禁止と言われたことがある。作ったものを捨てるかのように捉えてしまった。千葉市としてそのような方針かどうか、確認をさせていただきます。

溜委員 以前蕎麦打ちのサークルからそばを分けてもらい、おいしくいただいた。このようなことがあつたため、持ち帰り禁止ではないと思っていた。

土肥課長補佐 食中毒のリスクを考えた発言であつたかもしれないが、市としては持ち帰りまでを禁止する指示は出していない。

前島委員 多くの職員がいる中、大変かと思うが指示に対する扱い方、取り組み方を徹底していただきたい。

小林室長 調理などの事業を計画する段階で、コロナが今後どうなっていくか不明瞭であるため、意欲的に作ったものの実施できない講座もあったり、慎重になって計画に入れない館もあったりする。バラつきがあるのは否めない。計画段階ではなく、事業を実行する段階で、その時の状況に応じてふさわしいやり方で、できる限り講座を実施するように柔軟に対応していきたい。

岡山委員 制限に関連して、参加している歌のサークルが、集まって歌うことができないということで解散になってしまった。現在、公民館で歌うことは実施してはいけないのか。

土肥課長補佐 現在、主催事業では合唱しないようお願いしている。ただし、サークル活動においてはマスクをして一方を向いて、距離を取れば活動することは可能である。ただし、制限があり、今まで通りには活動ができないため、お断りをしていることもある。

岡山委員 難しい判断ですね。

鈴木委員 令和 4 年度の千草台公民館主催講座にある「料理を通して知るロシア」の名称について一考したい。

今関館長 本計画は昨年 1 2 月に作成をした。皆様のご意見を伺いながら判断していきたい。外国の文化を知る講座を企画する過程でロシアに絞ったためこの名称になった。

井上委員 皆様のご意見を伺ってみてはいかがか。

各委員

- ・トラブルになるような名称は避けたほうが無難ではないか。
- ・外国の食文化のことを知るのはいいのではないか。ただし、講師や受講者に対して批難が及ばないように配慮したほうが良い。
- ・文化を学ぶという内容はよいと思うが、タイトルをもう少し検討しては。

今関館長 皆さまに伺ったご意見を参考に再考したい。

井上委員 他団体とのコラボや地域と連携した事業がたくさんあり、次年度の事業も楽しみである。

以上をもって、稲毛区第2回運営審議会を終了する。

・閉会